

2024年度 一般社団法人日本看護技術学会
第2回理事会 議事録

日時：2024年9月17日（火）17：00～19：00

会場：WEB会議システム（ZOOM）

出席者（オンライン）：理事；角濱春美（理事長）、若村智子（副理事長）、大久保暢子、加藤木真史、
佐伯由香、篠崎恵美子、高橋有里、藤井徹也、樋之津淳子、
前田ひとみ、山内豊明

監事；岡田忍、茂野香おる

第22回学術集会長；矢野理香

第22回学術集会大会校代表；宍戸穂

事務局；伊津野、中村

議題；

報告事項

1. 前回議事録の確認

2024年度第1回理事会（書面）議事録を確認し、異議なく承認された。

2. 第22回学術集会の件

矢野理香大会長より資料に基づき、学術集会進捗について報告された。

1) 演題数

一般演題（口演）：52題、一般演題（示説）：45題、卒業研究交流セッション：7題、
交流セッション：12題

2) 事前参加登録数

会員144名、非会員132名

3) プログラム

受付は9時から開始。総会は1日目の17時～18時で大ホールにて開催予定。今後HPへプログラムを掲載予定。

4) 予算案

事前参加者登録者目標は500名に設定。

3. 第23回学術集会の件

若村智子次期学術集会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された。

1) 学術集会の開催報告

①開催概要

会長：若村智子（京都大学大学院）

会期：2025年10月11日（土）、12日（日）

場所：京都大学百周年時計台記念館、百年記念ホール、国際交流ホール、会議室

テーマ：その繰り返しを受け継ぐ看護の技と心

4. 第24回学術集会の件

大久保次次期学術集会長より学術集会の準備状況について報告された。

1) 学術集会の開催報告

①開催概要

会 長：大久保暢子（聖路加国際大学大学院）

会 期：2026年10月11日(日)、12日(月・祝)

場 所：聖路加国際大学

5. 庶務報告

篠崎恵美子庶務担当理事より資料に基づき、2024年8月31日現在の会員状況、会員数の年次推移が報告された。

審議事項

6. 退会について

篠崎恵美子庶務担当理事より資料に基づき、退会の申請時期と退会日について下記の通り議題が提示された。

現在の退会制度では会期中の退会希望者への明確な規定がなく、年度途中で退会を希望する場合、会員として権利を喪失するのか、年度内は会員としての資格を継続させるのか議論された。

他学会での事例も鑑みて、退会の申請受理を年度末とし、年会費は退会申請時の年度まで納入が必要であり、会員資格も年度末まで継続されるといった案が篠崎恵美子庶務担当理事より提案された。上記、審議事項に関して下記のような意見があった。

- ・他学会では年度末退会としている学会が多いように思う。
- ・会費の滞納を防ぐため次年度の請求を前年度の1月頃に行うことは可能なのか。

以上の審議を踏まえ、退会申請受理は年度末とすることが採用された。また事務局のシステムとして次年度の請求を前年度の1月頃に行うことが可能か確認し、次回理事会にて報告することとなった。

7. Web 入会フォームについて

篠崎恵美子庶務担当理事より資料に基づき Web 入会フォームについて提示され、事務局よりシステムの詳細について報告された。

上記、審議事項に関して下記のような意見があった。

- ・学会の会員情報は貴重な情報なので Web 入会フォームに入力してもらう情報は改めて審議が必要なのではないか。
- ・推薦するにあたり、教員や研究者の場合は HP 等で確認可能だが、臨床に従事している方だと確認方法が難しい。
- ・推薦者を探すのが入会の重荷になるのであれば不要なのではないか。
- ・当学会は臨床に従事してる会員も多いため、推薦者無しにして入会のハードルを下げるのもよいのではないか。

・現状、推薦後に確認等があるわけではないので、形式的なものになっているのではないか。
以上の審議を踏まえ、推薦状は廃止することとなった。次回理事会でWeb入会フォームに入力する情報を精査することとなった。また予算については事務費支出の事務局業務委託費から支出することとなった。

8. 理事長報告事項

1) 医療事故調査・支援センター

角濱春美理事長より資料に基づき、関連団体である医療事故調査・支援センターの学会統括責任者として就任したことが報告された。医療事故等が起きた際に意見を述べる会員を推薦するように依頼があり、今後、医療事故が発生した際には理事長が対象者を推薦することとなった。対象者は評議員から選出される予定。また一昨年から協力していた事例に関しては無事終了したことが報告された。

9. 各種委員会活動報告と審議事項について

編集委員会（樋之津委員長）

樋之津委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告が提示された。迅速査読について 1 件投稿があった事が報告された。

広報委員会（山内委員長）

山内委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告が提示された。学術集会の 1 日目に委員会開催を予定していることが報告された。

技術成果検討委員会（大久保委員長）

大久保委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告が提示された。今期に限りポジショニング班の班長が佐竹澄子先生から大久保暢子先生に変更となった。また活動報告として新しく加入した食事ケア班へのサポートや第 30 回日本看護診断学会学術集会シンポジウムへの参加が報告された。今期もキャラバン研修会を実施予定だが、対面式のキャラバン隊を予定しているため COVID-19 前の参加費(会員 1,000 円/非会員 3,000 円/学生(を除く))に戻すことが提示され、承認された。

研究活動推進委員会（藤井委員長）

藤井委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告が提示された。研究助成について、これまで謝礼については、金券類の使用を認めていなかったが、使用を認めるよう変更となった。また研究助成申請書は従来紙媒体で申請をしてもらっていたが今後は電子ファイルに移行することとなった。審議事項として、研究助成採択者の学会誌掲載の件と研究助成に係る業務委託の件が挙げられた。まず研究助成採択者について「日本看護技術学会会誌」に 1 年以内に投稿しなければならないとしているが、実際、1 年以内に掲載されていたのは 16 件中 2 件のみで実態にそぐわないとして、これを変更できないか議題が提示された。

上記、審議事項に関して下記のような意見があった。

・文言を丸ごと削除してしまうと投稿自体をして頂けない可能性があるので強い文言は避けつつ、

伝達は残したほうが良いのではないか。

・編集委員会としては研究助成対象者の情報を共有してもらえれば投稿受理の情報共有は可能である。

・研究助成での申請課題と論文投稿の課題が変わっていたり、所属先が変更になったりすることもあるので情報共有は難しいのではないか。

以上の審議を踏まえ、「1年以内」という文言は削除しつつ、助成金をもらう研究者としての義務として学会誌に投稿はしてもらうよう伝達自体は残すこととなった。

また、研究助成に係る業務委託の件として昨年まで委員会にて対応していた研究助成の庶務業務について事務局である株式会社春恒社に業務委託することが議題として提示された。

上記、審議事項に関して下記のような意見があった。

・委員会の先生方の業務量軽減のためにも、事務局対応可能なことは業務委託してもよいのではないか。

以上の審議を踏まえ、研究助成について事務局である株式会社春恒社に業務委託することが承認された。詳細としては研究助成に係る業務として開催業務・選考業務・候補者への連絡等の業務を委託することとなった。

倫理委員会（若村委員長）

若村委員長より資料に基づき 2024 年度活動報告が提示された。利益相反申告書について数名未提出者がいるため、若村委員長よりリマインドの連絡をすることとなった。

10. 入退会審査

篠崎恵美子庶務担当理事より資料に基づき入会申込者 2 件、退会届提出者 3 件について提示され、承認された。

11. 会員総会の議題について

事務局より 10 月 26 日（土）開催予定の会員総会の議題が提示され、承認された。

会員総会について岡田忍監事より予算や活動予定について当年度が開始されてから会員に報告されるのは問題があるのではないかと意見があり、今後理事会にて検討をしていくこととなった。

2024 年 月 日

議事録作成人： _____

（角濱 春美）

議事録署名人：

出席監事； _____

（岡田 忍）

（茂野 香おる）